

【A年】

聖霊降臨後第九主日

特定十三

憐れみ深い全能の神よ、み民がまことと賛美の礼拝を献げられるのは、ただあなたの恵みによります。どうかこの世において忠実に主に仕え、ひたすら主の約束を望み、ついにみ前に至ることができますように、主イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はネヘミヤ記第九章十六節から」

16 ところが、わたしたちの先祖は傲慢にふるまい

かたくなになり、戒めに従わなかった。

17 聞き従うことを拒み

彼らに示された驚くべき御業を忘れ

かたくなになり

エジプトの苦役に戻ろうと考えた。しかし、あなたは罪を赦す神。恵みに満ち、憐れみ深く

忍耐強く、慈しみに溢れ

18 先祖を見捨てることはなさらなかった。

彼らが牛の像を鋳て造り

エジプトから救ってくれた神だと称し

背信の大罪を犯したときも

19 まことに憐れみ深いあなたは

彼らを荒れ野に見捨ててはなさらなかった。昼は雲の柱を取り去ることなく行く手を示し

夜は火の柱を取り去ることなく

行く道を照らされた。

20 あなたの優れた霊を授けて彼らに悟りを与え

口からマナを取り上げることなく

渴けば水を与えられた。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第七八編 十四節〜二〇節、二三節〜二五節

- 14 昼は雲が彼らに先立ち＝ 夜は燃える炎が彼らを導い
 15 荒れ野で岩を割り＝ 豊かな水で彼らの渴きをいやされ
 16 岩から水がわき出し＝ その水の流れば川となった
 17 それでも、彼らは神に背き＝ 砂漠で、いと高き方に逆
 18 飢えを満たす食物を求め＝ 心のままに神を試み
 19 神に逆らって言った＝ 「神は荒れ野で食事を出すこと
 20 ができるだろうか
 21 岩を打って水をわき出させた神は＝ 食物を与え、そ
 22 の民に肉を備えることができようか」
 23 神は大空に命じて＝ 天の扉を開き
 24 彼らの上にマナを降らせ＝ 天の小麦を食物として与
 25 えられた
 26 人びとはみ使いのパンを食べ＝ 神は彼らに飽きるほど
 の食物を与えた

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第八章三五節か

35 だが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことが
 できましよう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険
 か。剣か。

36 「わたしたちは、あなたのために

一日中死にさらされ、

屠られる羊のように見られている」

と書いてあるとおりです。37 しかし、これらすべてのこと
 において、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方に
 よって輝かしい勝利を収めています。38 わたしは確信して
 います。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のもの
 も、未来のものも、力あるものも、39 高い所にいるもの
 も、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたし
 たちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わ
 たしたちを引き離すことはできないのです。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十四章十三節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

13 イエスはこれを聞くと、舟に乗ってそこを去り、ひとり人里離れた所に退かれた。しかし、群衆はそのことを聞き、方々の町から歩いて後を追った。14 イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て深く憐れみ、その中の病人をいやされた。15 夕暮れになったので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、もう時間もたちました。群衆を解散させてください。そうすれば、自分で村へ食べ物を買って行くでしょう。」16 イエスは言われた。「行かせることはない。あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい。」17 弟子たちは言った。「ここにはパン五つと魚二匹しかありません。」18 イエスは、「それをここに持って来なさい」と言い、19 群衆には草の上に座るようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。20 すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二の籠いっぱいになった。21 食べた人は、女と子供を別にして、男が五千人ほどであった。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」